

夢に向かって

つくば市立学園の森義務教育学校六年 小島 夕和

僕の将来の夢は科学者だ。最初は理系の教科が好きという理由だけでなんとなく科学者になりたいと思っていた。でも、新しい科学技術の実用化に向けた取組を知り、科学者としてプラズマ研究をしてみたいと思う出来事があった。

私の住んでいるつくばには筑波大学があり、そこでは毎年、科学技術週間にキッズ・ユニバーシティとして一日筑波大生になれる機会がある。今年、初めてこのイベントに参加した際、大学の様々な科学に関する研究内容や実験に触れることができた。その中でも、プラズマ研究センターの見学ツアーとそこで研究している大学生の話に心を奪われた。「原子力発電は重い原子の原子核分裂反応を利用するのに対して、核融合発電は軽い原子による核融合反応を利用してエネルギーを発生させる。現在、核融合の関連技術の開発が進められており、その中に

プラズマの安定的なコントロール技術も含まれる。」と話されていた。東日本大震災では、福島第一原子力発電所で放射性物質の放出を伴った原子力事故が発生した。この技術が実用化されれば、深刻な事態もまぬがれたかもしれない。僕もこの大学生のように、新しい技術の研究し、実用化させることにより、人類のエネルギー問題を解決したいと思った。では、僕は今、何をすればいいのか。一つ目は、プラズマを研究できる大学機関は限られるため、今まで以上に勉強することだ。問題もただ解答するのではなく、どうしてそのような解答となるのか、過程をきちんと理解して自分のものにしていかなければならない。

二つ目は、英語力を身につけることだ。読む・書くだけでなく、聞く・話すことにも重点を置き、海外の研究者と意見交換をする時に必要なコミュニケーション

ン能力を習得しなければならない。三つ目は、人に寄り添い、相手を思いやる気持ちを育てることだ。僕には弟が二人いるが、いつも自分と対等に考えてしまい、けんかになることがある。研究者であれば、世界中の大勢の人々と関わりを持つことになる。相手の立場に立って行動しなければならぬ。

その他、もつと多くのことが必要になるはずだが、未来のために今できることを着実に実行し、力の限りがんばりたいと思う。また、今回、ライフプランシートを作成し、改めて夢をかなえるための道の険しさと、莫大なお金が必要なことがわかった。僕の夢を認めて見守ってくれる両親に感謝したい。

自分が関わった研究で、人類のエネルギー問題が解決できるように、環境破壊をこれ以上進めないように。原子力事故が二度と起きないような世の中にしていきたい。

小島 夕和 のライフプラン

将来なにになりたいか? 科学者
その理由: 人類のエネルギー問題を解決し、原子力事故を二度と起きないようにしたいと思ったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2019年	12(小6)	受験勉強!!	塾の月謝・受験料
2020年	13(中1)	並木中等入学 部活と勉強の両立	学費・塾の月謝
2021年	14(中2)	論文の書き方を学ぶ プレゼンテーションの方法を学ぶ	〃
2022年	15(中3)	英検2級取得	〃
2023年	16(高1)	物理科学を中心に勉強	〃
2024年	17(高2)	課題に対して深く探求	〃
2025年	18(高3)	英検1級取得 受験勉強 ↓	〃
2026年	19(大1)	筑波大学入学 物理学類又は 応用理工学類	入学金・学費・生活費
2027年	20(大2)	ドイツに留学	学費・生活費 留学費
2028年	21(大3)	日本物理学会で講演する。	
2029年	22(大4)	課題研究に取り組み (プラズマ研究センター卒業)	
2030年	23	大学院に進む	
2031年	24	修士号取得 大学院修了	
2032年	25	博士課程に進学	
2033年	26	プラズマに関する研究を進める	
2034年	27	博士論文発表 ↓	
2047年	40	核融合実験炉の建設プロジェクトに関わる	